

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

大障教は大阪の障害児教育をより発展させていくため
みなさんの加入を心よりお待ちしております

あなたも大障教へ

いい教育がしたい！安心してはたらきつづけたい！



4月1日朝、任命式会場前宣伝を行い、
初任の方を出迎えました。

大変な時こそ組合の出番！
教職員組合は、職場の仲間が
さまざまな願いを持ち寄ってつ
ながり合い、みんなで語り合い

新年度がスタートして約2週間がたちました。新規採用者のみなさんにとっては毎日が不安と緊張の連続で、疲れも出ていくのではないのでしょうか。ベテラン・中堅の先生方も、新年度の準備をはじめさまざまな仕事に追われ、忙しくお過ごしのことと思います。

大障教（大阪府立障害児学校教職員組合）は、府立支援学校の教育条件整備と教職員の労働条件の改善、障害者福祉の充実などを大きな柱として、2024年度も運動をすすめていきます。新年度にあたり、大障教のとりくみへの協力をお願いいたします。また、この機会にひとりでも多くの教職員のみなさんが組合員として、私たちの運動に参加していただくことを心から呼びかけます。

大変な時こそ組合の出番！

学び合う活動をする組織です。教育条件の前進や労働条件の改善に向けて、教育予算の増額や支援学校建設などを求める活動に、父母や府民、全国の仲間とみなさんと力を合わせてとりくんできました。

昨年度は、27年ぶりの全世界での「給料表の改定・一時金引上げ」、「会計年度任用職員の単価改定」、「コロナ・インフルエンザでの病休は診断

書提出が不要に」、「部分休業」と年休取得の併用可能に、「交通機関の通勤認定緩和・自動車通勤の許可要件拡大」、「高齢者部分休業において、フルタイム復帰（1回限り）後に再度、部分休業取得可」、「子育て部分休業の対象を小学校6年生まで拡大」、「前倒し任用が栄養教諭も対象に」、「寄宿舎指導員の代替が非常勤補助員から常勤配置に」などの要求を実現させるこ



大障教のホームページ

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

新転任歓迎行事にぜひご参加ください

4月26日（金）18時半からアネックスバル法門坂にて、うたあそび講座「楽しい時、人は主体的になれる。子どもも先生もくまらずは、子どもたちの前に、先生自身が楽しさを経験してみよう」と題して、つながりあそび・うた研究所の二本松

はじめさんと町田浩志さんに久しぶりに講座をしていただきませう。授業で使える「うたあそび」がもりだくさん！いっしょに身体を動かして、学びましょう。（詳しい案内は裏面に掲載）



お得な全教共済（大教済）にもご加入を

教職員組合の活動と合わせて、教職員がお金を出し合い、仲間同士で助け合う「共済」の仕組みを自主的につくり、その運用もおこなっています。

大障教が扱う「全教共済（大教済）」は、組合員でない方も気軽に加入できます。

特に、月々600円の掛金で、結婚・出産時などに給付が受けられ、退職時には掛金が全額戻ってくる「総合共済」は、府立支援学校の約6割の先生方が加入しており、新規採用者のみなさんにもおすすめですよ。

まずは、新転任教研や職場のとりくみなどに参加して、組合のことを知ってください。その上で多くの教職員のみなさんに、大障教に加入していただけることを願っております。



総合共済の申込みはこちらから！

とができました。

大変な時こそ「組合」の出番です。「よりよい教育をすすめる活動」と「働きやすい職場をつくる活動」をみんなの力を合わせてすすめていきましょう。

書記局の

わすじゅ

「春」という季節は、何度経験してもドキドキするものだ。学校現場においては、手塩にかけた卒業生を笑顔で送り出す「別れの3月」、右も左もわからない入学生（進級生）を笑顔で迎えられる「出会いの4月」は、やはり特別な季節である。

年度末〜年度初めは文字通り業務に忙殺されて余裕がなくなるが、忙しいからこそ大切にしたいのが「笑顔」である。「笑顔」といえば、私が支援学校の初任校で勤めていた時に、尊敬する先輩が「教師は俳優」という言葉を教えてくれたことを思い出す。どんなに忙しくても、どんなに大変な時でも、いざ子どもたちの前に立てば、常に満面の笑顔で立ち振る舞う先輩の姿勢に「教育のプロ」を感じた。そして、その先生の「一挙手一投足に魅入る子どもたちの横顔を見て、「こんな先生になりたいなあ」「こんな授業をしてみたいなあ」と憧れ、教師という仕事をより好きになった。

今年の春も新生たちが、期待と不安を胸いっぱいに入學式にやってくる。20数年分の満面の笑顔で迎え入れたつもりだが、子どもたちの目にはどう映ったのだろうか。「またね」と門を出る時に何度も手を振ってくれた姿にたくさんの元気をもらった。日常の学校生活が始まれば、余裕がなくなる日も多々あるが、そんな時こそ「教育のプロ」を心がけて子どもたちに関わっていきなさいと思う。

2024年度がスタートしました。府立支援学校で勤める初任の先生、転任の先生、引き続き継続勤務の先生等、それぞれの1年が始まります。子どもたちの笑顔が溢れる学校となるよう、私たち教職員も仲間を支え合いながら「笑顔」でぼちぼちまいります。

大障教主催

「豊かで安全安心な給食を考えるつどい」

2024年2月9日(金)、大障教主催「豊かで安全安心な給食を考えるつどい」栄養教員の働き方からみる、学校給食の状況について」が、たかつガーデンを会場にオンライン併用で開催されました。今回のつどいは、2023年9月の吹田・摂津・守口支援学校における株式会社「ホーユー」の給食調理業務停止問題で、あらためて民間委託の問題が浮き彫りになり、栄養教員がどのような働きかたをし困難さや課題があるか共有し、給食のあり方をみんな考えていくために開催しました。全体で約30人の参加があり、栄養教員も多数参加しました。



栄養教員部 元部長の武田さん

最初に、栄養教員部久保さん(東淀川支援分庁)から栄養教員の働き方の実態や給食のありかたなどをお話いただきました。栄養教員の業務は、多岐にわたったり、それを勤務時間内でおこなうことは困難であるが、一人職種のため、他の方に業務を頼むことも難しい現状を報告されました。民間委託化のもとで、特に仕方や現状など、これまでの変遷や栄養教諭制度の導入の経過



をもとに丁寧にお話いただきました。府立学校では、1989年に定時制高校の給食が民間委託化され、2004年に支援学校の民間委託化が強行されました。その際、交渉で問題点などさまざまに追及した当時の様子をはじめ、これまで、府教委に対して栄養教員部を中心に要求を訴えつづけてこられたことがよくわかりました。また、参加した栄養教員

2024年度 大障教 新転任歓迎教研

4月26日(金) 18:30-20:40

会場：アネックスパル法円坂 (大阪市教育会館) 7階 なにわのみやホール (大阪市中央区法円坂1-1-38)

講師：つながりあそび・うた研究所
二本松はじめさん 町田浩志さん
「楽しい時、人は主体的になれる。子どもも先生も」
～まずは、子どもたちの前に、先生自身が楽しさを経験してみよう～

- ①大声でなくとも、つぶやきでも歌ってみよう
「元気いっぱい」「誕生日って」「手と手と手と」他
- ②絵本の中へ飛び込んじゃおう
「おいらカエルやめる」「ぞうさん列車」他
- ③遊んで思わずからだが笑っちゃおう
「無人島」「動物園へ行こうよ」「ダルビッシュ」「くるくるおりがみ」「まて まて」「せんたく」「おひさまにとどけ」
- ④からだを使っておどってみよう！
ダンス「アミーゴ」

参加費：500円
※大障教の組合員の方は無料です。実技講座です。動きやすい服装でご参加ください。
地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅10番出口より徒歩約10分
地下鉄長堀鶴見緑地線・中央線「森ノ宮」駅2番出口より徒歩約10分
近鉄線「森ノ宮」駅より徒歩約10分



切実な状況が語られ、驚きの声も

なさんに発言していただきました。一人職種のため校内で相談できないこと、ミスできないなど責任が大変重い、時間内にはとても終わらない業務負担、委託業者とのやりとりの負担など、切実な状況が語られ、参加者からは驚きの声があがる場面もありました。参加者からは、複数配置が必要、民間委託ではなく直営であるべき、組合で要求するこ

との重要性、参加できなかった職場の栄養教諭と話したい、栄養教員の先輩のお話を聞けてよかった、悩みを話せる場があつてよかったなどの感想が寄せられました。大障教では、引き続き、栄養教員のみならずとも、子どもたちのために、豊かな給食・食生活と安心して働ける労働条件の改善、栄養教諭の複数配置を求め、とりくみを

3月号
12月号、26月号、10月17日号、2024年1月2日号

集まれば元気！分会のとりくみ

生野聴覚支援分会は、4月1日に昼休み休憩を利用して新転任の方の歓迎会を行いました。地元で美味しいと言われるお弁当屋さん注文して、分会員の方々と一緒に食べながら、新転任の方々と組合員の自己紹介を行いました。時間の関係もあり、短時間の会になりましたが、各部の組合員の先生方が声をかけてくれて、ゆうぎ室に集まったことは、これからの様々な組合活動につながる動きだと思えます。大障教の新転任の取り組みや専門ブロックでの勉強会にも積極的に誘えるように頑張っていきたいと思いました。

(生野聴覚支援分会 丹治一哉)



四條畷校分会では、3月22日に分会集会を行い、恒例のお弁当を食べながら「ひとり一言」で1年間の振り返りをしました。それぞれの話を聞いていると、学部や学年が違っていてもみんな生徒のことを想っている、ということを感じることができて、すごく心が温まります。また、新年度は4月2日にさっそく役員会を行い、顔合わせをした後に新転任者の歓迎準備をしました。毎年続けている桜をモチーフにした用紙の歓迎コメントに加えて、今年度は裏面に、役員が手書きで学校周辺のお店マップを描いて、お菓子を添えてプレゼントしました。たくさんの人と話を共有し、新たな仲間が増えることが楽しみです。

(四條畷校分会 辻田剛士)